平成25年度
東北大学史料館　事業年報



Ⅰ　組織概要

(1) 理念・目的と事業内容

東北大学史料館は、東北大学の歴史に関する資料の保存・公開をおこなう、東北大学のアーカイブズ（Archives＝文書館・公文書館）である。

発足間もない2001年度に当時の史料館運営委員会でまとめられた『東北大学史料館の将来構想』では、21世紀の東北大学のアーカイブズとして史料館が果たすべき基本的な役割が、以下の4点に整理し明示されている。

一、大学における歴史的情報を学内外に公開し、現代的情報を対象とする情報公開制度との両輪で「開かれた大学」という理念を実現する。

二、大学自身の歴史的資料を、長期的な見通しに立った大学改革・大学評価の基礎となる材料として活用し、大学の発展に貢献する。

三、収蔵資料を基礎にした大学史に関する研究活動を行い、これを基礎にした大学教育・社会教育活動を行うことで学術研究や地域文化の発展に貢献する。

四、アーカイブズそのものに関する研究・教育活動及びその支援を行い、公文書館等各地の資料保存機関で活躍する人材の育成に貢献する。

ここ示された理念の実現のために、史料館では本部事務機構以下の学内諸部局や関係分野の教員との連携のもと、以下の事業を継続的に実施している。

1）学内諸部局に散在する大学公文書を保存期間満了後に歴史的価値評価に基づいて選別集約し、同時に本学の歴史に関する個人文書等の調査・収集を行うことで、東北大学の歴史資料として価値を有する様々な記録資料の集約と保存を図る。

2）史料館に集積された資料を一般の閲覧利用に提供し、同時にそのための利用環境の整備（資料調査・整理および目録・データベースの作成公開）を図る。

3）常設展示や企画展示など東北大学の歴史に関する展示活動や広報誌の発行等を通じて、東北大学の歴史に関する社会教育・普及活動を実施する。

4）東北大学の歴史や資料保存・公開等に関する調査研究活動を実施し、同時にこれらを基礎にした教育活動を行う。

(2) 沿革

東北大学史料館は、昭和38年（1963）7月にわが国初の大学アーカイブズ「東北大学記念資料室」として設置されて以後、半世紀近くにわたって活動を続けている。その沿革は以下のようにまとめられる。

①『東北大学五十年史』編纂事業と東北大学記念資料室の発足

東北大学では、昭和35年（1960）に『東北大学五十年史』の編纂刊行を終了したのち、編纂事業において調査・収集した資料の保存公開の必要が認識され、1963年（昭和38）7月、「本学の歴史に関係ある記念となる資料を収集、保存するとともに、これを公開活用して、もって本学及び学術の発展に寄与する」ことを目的とする「東北大学記念資料室」が設置された。当時国内にはこうした大学アーカイブズの設置例はまだなかったが、欧米の大学ではアーカイブズが多く設置され始めており、こうした事例を参考にわが国初の「大学アーカイブズ」として発

足した。

当初この記念資料室は附属図書館内に設けられ、職員もまた図書館業務を兼務するなど実質的には図書館と一体的なかたちで運営されていた。しかし1986年10月からは片平地区の旧附属図書館本館閲覧室を単独で使用し、教員についても専任の教員が配置され、実質的にも図書館業務と独立した組織として運営されるようになった。

②いわゆる「情報公開法」の施行と東北大学史料館への改組

平成12年（2000）12月、「東北大学記念資料室」は「東北大学史料館」へと改組された。この「史料館」への転換は、国立大学法人化に向けた学内改組の動きのなかで従来の「記念資料室」のありかたについて再検討を進めた結果、(1) いわゆる「情報公開法」の施行に伴う保存期間を満了した歴史公文書の保存公開体制整備、(2)『東北大学百年史』編纂事業の伸展に伴う資料受入・保存公開体制のさらなる整備、(3) 本学を代表する一般公開施設としての整備充実、といった観点から必要な改革としておこなわれたものであった。とくに (1) については、翌年４月より保存期間を満了した歴史公文書の評価を史料館が担当することが学内で正式に制度化され、以後歴史公文書にかかる業務が大きな比率を占めるようになった。

なお平成18年（2006）４月には、総合学術博物館・植物園・史料館を「業務組織」として傘下に置く「東北大学学術資源研究公開センター」が設置され、史料館は以後同センターの業務組織となった。その結果博物館等との連携も強めているが、一方で事務担当部局は従来通り附属図書館とされ、図書館との関係も維持されている。

③「公文書等の管理に関する法律」施行と史料館公文書室の発足

平成23年（2011）４月、「公文書等の管理に関する法律」の施行に伴い、国の行政機関や独立行政法人等における公文書管理制度の大幅な見直しがおこなわれることとなった。東北大学においても同法に対応する形で「国立大学法人東北大学法人文書管理規程」が制定されるとともに、従来から実施してきた歴史公文書の史料館への移管制度をふまえ、同法が「特定歴史公文書等」の保存公開施設として定める「国立公文書館等」に相当する施設として、史料館に新たに「公文書室」を設置することとなった。

公文書室は学術資源研究公開センター史料館の一部門である一方で、総長の指名する副学長又は理事が委員長をつとめる「東北大学公文書管理委員会」のもとで本学の歴史公文書の管理公開を担当する組織としても位置付けられるなど特別な位置づけとなっている。またこうした位置付けに対応し、公文書室関係の事務に関しては総務部総務課が担当している。

また公文書室の設置と同時に、個人からの寄贈資料やその他の大学史にかかる多様な歴史資料を「特定歴史公文書等」と区分して管理・公開するため、「公文書室」と並ぶ室として「記念資料室」を設置し、以後この２室（２部門）体制で、本学の歴史に関する資料の保存と公開をおこなっている。

(3) 東北大学史料館の収集・所蔵資料

「公文書等の管理に関する法律」および「国立大学法人東北大学法人文書管理規程」にもとづき保存期間を満了した東北大学の歴史公文書の移管を受けるとともに、教職員・卒業生はじめとする関係者の記録など大学の歴史を跡づける多様な資料を収集・保存し公開している。

史料館が収集・管理する資料の概要（平成25年度末現在）

区分	主な内容（公開中のもの）
東北大学の歴史公文書	4,113冊
東北大学および各部局・学内各種組織が発行する刊行物（学術誌を除く）	約2,200シリーズ
東北大学関係者の個人・関連団体資料	58資料群
東北大学の歴史に関する写真・動画資料	写真資料5,960点 動画資料３点
東北大学の歴史に関する物品資料・記念品等	看板、教育用器具、絵画、印章、衣服、記念品等

(4) 組織・スタッフ

①スタッフ（2013年度）

1）職員

館　長（公文書室長・記念資料室長）

文学研究科教授	佐藤　弘夫	

教員等

准教授	永田　英明	
助　教	曽根原　理	
助　教	大原　理恵	
教育研究支援者（公文書室）	加藤　　諭	※協力研究員兼務

事務職員・アルバイト

再雇用職員	川村　秀子	
事務補佐員	高橋　早苗	
事務補佐員（公文書室）	小林　由理	
事務補佐員	小幡　圭祐	
事務補佐員	佐藤　正隆	
事務補佐員	大谷　瞭介	
事務補佐員	王　　陶陶	

2）兼務教員

文学研究科准教授	安達　宏昭
高等教育開発推進センター教授	羽田　貴史
高等教育開発推進センター講師	中川　　学
高等教育開発推進センター講師	串本　　剛
高等教育開発推進センター助教	高橋　禎雄

3）協力研究員

東北学院大学（非常勤）	吉葉　恭行
岩沼市史編纂室	伊藤　大介

②組織

１）資料管理・公開業務にかかる組織

「東北大学史料館」全体として本学の歴史に関する資料の管理公開に取り組むと共に、平成23年度より「特定歴史公文書等」の管理を担当する公文書室と、「歴史的資料等」の管理を担当する記念資料室の２室を設置し管理公開業務をおこなっている。

●公文書室

保存期間を満了し移管された本学の歴史公文書、および公文書に準じる性格を有するその他の資料を含む「特定歴史公文書等」の保存・公開等をおこなう。「公文書等の管理に関する法律」第二条第３項第二号に定める「国立公文書館等」としての指定を受けた施設。

●記念資料室

退職教員・卒業生その他の個人等からの寄贈資料を中心とする、東北大学の歴史に関する多様な資料の保存、公開等をおこなう。「公文書等の管理に関する法律」第二条第５項第三号に定める「歴史的若しくは文化的な資料又は学術研究用の資料」を管理する施設としての指定を受けた施設。

２）事務担当組織

史料館にかかる諸種の事務事項のうち、公文書室に特有の事務については総務部総務課が、それ以外の事務については附属図書館事務部がそれぞれ担当している。

(5) 関係委員会等

①学術資源研究公開センター運営専門委員会史料館部会

「東北大学学術資源研究公開センター規程」第14条にもとづき、学術資源研究公開センター運営専門委員会の下に設置された、史料館の運営に係る専門的事項の審議をおこなう委員会。

2013年度委員名簿

委員長	史料館長・文学研究科教授	佐藤　弘夫
委員	文学研究科教授	柳原　敏昭
委員	教育学研究科教授	八鍬　友広
委員	東北アジア研究センター教授	平川　　新
委員	高等教育開発推進センター教授	羽田　貴史
委員	電気通信研究所教授	中島　康治
委員	医学系研究科教授・附属図書館副館長	柳澤　輝行（～９.30）
委員	農学研究科教授・附属図書館副館長	西尾　　剛（10. １～）
委員	学術資源研究公開センター史料館准教授	永田　英明
委員	学術資源研究公開センター史料館助教	曽根原　理
委員	学術資源研究公開センター史料館助教	大原　理恵

②東北大学公文書管理委員会

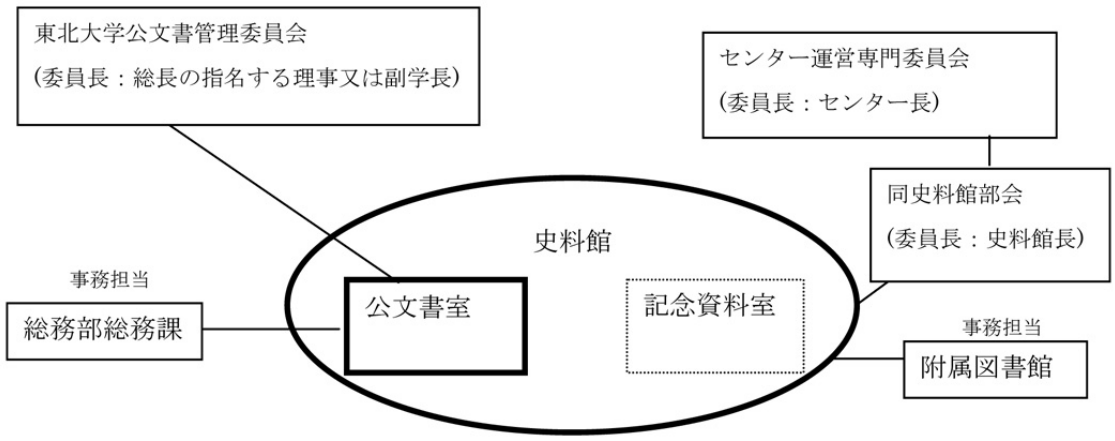
「国立大学法人東北大学法人文書管理規程」第８条に基づき、本学の法人文書および「学術資源研究公開センター史料館公文書室が保存する特定歴史公文書等」の管理に関する重要

事項を審議する委員会。

2013年度委員名簿

委員長	副学長	兵藤　英治
委員	法務・コンプライアンス部長	斎藤　　仁
委員	史料館長・文学研究科教授	佐藤　弘夫
委員	法務・コンプライアンス部法務課長	船田　正幸
委員	東北アジア研究センター教授	平川　　新
委員	法学研究科教授	中原　茂樹
委員	学術資源研究公開センター准教授	永田　英明

史料館組織概念図



(6) 施設

史料館本館は1924年に旧附属図書館本館として竣工した鉄筋コンクリート二階建ての施設を使用している。総床面積は1214㎡であるが、うち52㎡は小田滋国際司法裁判所判事記念室に提供中である。 またこのほかに、本部１号館（旧理学化学科棟）内の東側約100㎡を歴史公文書庫として使用していたが、平成26年度における東北大学「知の館」新設工事に伴い該当建物が取り壊されることとなり、平成26年３月末で退去せざるを得なくなった。この部分については、代替スペースが確保されるまでの一時的な措置として、平成26年４月以降片平キャンパス内職員宿泊施設（片平会館）の一部を臨時の保管場所として借用している。

なお本館については平成24年度から25年度初頭にかけ、東日本大震災による被災復旧を兼ねた耐震改修工事が実施された。

施設は全般的に狭隘な状況にあり、業務遂行に必要な施設の確保が課題となっている。特に資料収蔵スペースの確保は今後の業務の遂行に不可欠の課題となっている。

施設総面積の推移（単位：㎡）

	本館内						館外倉庫	備考
	合計	執務	展示	閲覧	収蔵	他		
平成22年	909	117	332	28	255	157	104	執務室拡張 （旧百年史編纂室）
平成23年	1162	145	437	100	287	193	104	閲覧室・展示室等整備 （旧法科大学院講義室等）
平成24年	1162	145	437	100	287	193	104	
平成25年	1129	163	406	78	273	209	104	耐震改修工事に伴う使用区分変更

史料館施設利用状況一覧（平成26年３月現在、単位：㎡）

１階・地階	事務室	32	
	教員室１	28	准教授室
	教員室２・ミーティング室	56	助教および教育研究支援者室
	資料研究室	28	協力研究員およびアルバイト作業室
	資料整理室	19	受入資料の荷解・一時保管室
	閲覧室・開架書庫	78	書架延長195m
	書庫Ａ	56	書架延長371m
	書庫Ｂ	17	書架延長114m
	書庫Ｃ	21	書架延長61m
	地下倉庫（階段含む）	16	物品資料保管室
	倉庫（階段含む）	23	
	廊下・便所	120	
２・３階	展示室	406	
	展示準備室	28	展示用品等の保管場所
	貴重資料室	18	美術資料その他の貴重品保管室
	書庫Ｄ・Ｅ・Ｆ・Ｇ	79	書架延長463m
	書庫Ｈ・Ｉ	38	書架延長140m
	廊下・階段室	89	
本部１号館３階	公文書室書庫	100	書架延長
	物品保管庫	4	物品資料保管室

収蔵・保存環境

項目	内容	導入年度
紫外線対策	紫外線吸収膜付蛍光灯（館内収蔵庫等） 展示室外窓紫外線防止フィルム貼付	平成22年度 平成25年度
空調管理	別館収蔵庫空調機 本館内収蔵庫空調機 ワイヤレス式温湿度計	平成23年度 平成24年度 平成24－25年度
地震対策	別館内書庫耐震固定工事	平成23年度
火災対策	書庫内消火器の更新（二酸化炭素消火器）	平成22年度
保存措置用機器	メディカルフリーザー（冷凍燻蒸用） HEPA フィルター付業務用清掃機	平成22年度 平成22年度

収蔵書架延長の推移

	収蔵室書架延長	
平成22年度	1470m	旧百年史編纂室収蔵設備の移管による増加
平成23年度	1570m	開架閲覧室等の整備に伴う増加
平成24年度	1570m	
平成25年度	1570m	

公開設備

閲覧室・ 開架図書室	専用閲覧室の整備（閲覧室の拡張移転および閲覧机、書架、マイクロスキャナ等 / 広報課総長裁量経費）	平成23年度
	耐震改修に伴う専用閲覧室の再整備	平成25年度
展示室整備	展示室の増設に伴う魯迅記念展示室・企画展示室の整備（広報課総長裁量経費）	平成23年度
	耐震改修に伴う常設展示・魯迅記念展示・企画展示室の再整備（展示室の２階への集約）	平成25年度

Ⅱ　2013年度の活動状況

１．組織・運営

１－１．関係委員会の開催

(1) 学術資源研究公開センター運営専門委員会史料館部会

以下の３回にわたり同部会を開催した。

①第１回（平成25年８月１日（月））

場　所　　附属図書館１号館２階会議室

出席者　　佐藤委員長（館長）柳澤（図・副館長）、柳原（文）、八鍬（教）、中嶋（通研）、平川（災害）、羽田（高等教育）、永田（史料館）、大原（史料館）の各委員

欠席者　　曽根原（史料館）

陪席者　　加藤教育研究支援者、附属図書館総務課庶務係長

議　題　(1) リニューアルオープンおよび今後の計画等について
(2) 平成24年度事業報告および決算
(3) 平成25年度事業実施状況および予算について
(4) その他

②第 2 回（平成26年 2 月 3 日（月））

場　所　附属図書館 1 号館 2 階会議室
出席者　佐藤 議長（館長)、柳澤（図・副館長)、柳原（文)、平川（災害)、永田（史料館)、曽根原（史料館)、大原（史料館）の各委員
欠席者　羽田（高等教育）委員
陪席者　加藤教育研究支援者（史料館)、菊地附属図書館総務課庶務係長
議　題　(1) 史料館長候補者推薦委員会の設置について
(2) その他

③第 3 回（平成26年 2 月28日（金）15：00～15：36）

場　所　文学研究科 3 階中会議室
出席者　佐藤議長（館長)、西尾（図・副館長)、八鍬（教育)、柳原（文)、平川（災害研)、永田（史料館）
欠席者　中島（通研)、羽田（高等教育セ)、曽根原（史料館)、大原（史料館）
陪席者　加藤教育研究支援者（史料館)、菊地附属図書館総務課総務係員
議　事　(1) 前回：平成26年 2 月 3 日（月）開催の議事要録（案）の確認
(2) 史料館長候補者の推薦について
(3) 平成25年度事業報告および予算執行状況について
(4) 平成26年度事業計画について
(5) 協力研究員について
(6) その他

(2) 東北大学公文書管理委員会

第 1 回　日時　平成25年 7 月24日（水）10：30～11：30
場所　本部 1 階法務課打合せ室
出席者　北村委員長（副学長)、高橋（総務部長)、佐藤（公文書室長)、米本（総務課長)、平川（東北アジア研究センター)、永田（史料館）委員
議題　[審議事項]
(1) 内部監査の指摘事項への対応について
(2) 法人文書に係る管理上の諸課題について
[報告事項]
(1) 全国公文書館長会議について
(2) 平成24年度特定歴史公文書等の保存及び利用の状況報告について
(3) 平成24年度法人文書の管理状況調査について

1－2．学内外からの事業資金獲得状況

(1) 平成25年度全学的基盤経費

学術資源研究公開センター配分経費のうち、史料館企画展・休日開館経費および東北大学デジタルアーカイブズ整備経費として合計1,500千円の配分を受けた。

(2) 平成25年度総長裁量経費

史料館利用者用エレベーター設置工事として22,000千円の配分を受けた。

2．資料の管理・公開（アーカイブズ事業）

2－1．資料の受入・整理

(1) 公文書室所管資料（特定歴史公文書・刊行物）の受入・整理・公開

①資料の受入・移管

1）特定歴史公文書（保存期間満了後公文書室に移管された法人文書）

平成25年度末保存期間満了文書の評価数　　計3893ファイル（うち125点を移管指定）

平成25年度特定歴史公文書の受入数　　計 68冊（本部／部局）

2）学内刊行物の新規収集　　計198件

平成25年度に受け入れた特定歴史公文書（移管元別内訳）

総長室	0	総務課	4	広報課	4	人事課	0
法務課	1	利益相反マネジメント事務室	0	国際交流課	3	研究協力課	12
産学連携課	0	財務課	2	資金管理課	0	資産管理課	0
調達室	0	財務決算室	0	学務課	0	教務課	3
学生支援課	3	キャリア支援事務室	0	入試課	4	留学生課	1
環境安全推進	0	情報基盤課	1	情報推進課	0	施設部計画課	1
建築整備課	0	監査室	0	本部総計	39		
文学研究科	0	教育学研究科	2	法学研究科（含法科大学院）	0	経済学研究科	2
理学研究科	1	医学系研究科	1	医学部保健学科	0	歯学研究科	0
薬学研究科	2	工学研究科	2	農学研究科（含複合生態セ）	8	国際文化研究科	1
情報科学研究科	0	生命科学研究科	0	環境科学研究科	0	医工学研究科	0
金属材料研究所	7	加齢医学研究所	1	流体科学研究所	0	電気通信研究所	1
多元物質科学研究所	0	附属図書館	0	附属病院	1	医学分館	0
国際高等研究教育機構	0	学際科学国際高等研究センター	0	サイクロトロン・RIセンター	0	未来科学技術共同研究センター	0
WPI	0	東北アジア研究センター	0				

※数字の単位は冊数

②目録の整備・公表

特定歴史公文書の目録公開　　計774冊（累計4106点）

平成25年度に公開を開始した主な特定歴史公文書（移管元別内訳）※数字の単位は冊数

資料群名	冊数	主な内容、備考	利用制限
学生部文書	30	体育部関係、ローマ五輪漕艇部出場関係等	制限あり
教員適格審査関係	208		制限あり
総務課文書	18	評議会議事録・学部長会議	制限あり
入試課文書	450		全部公開
平成24年度末保存期間満了文書	68		
合計（予定）	774		

③資料複製・補修等

特定歴史公文書等のマイクロフィルム撮影　2冊（635コマ）

文部省科学技術補助員養成所関係（1944～45年）のマイクロフィルムを作成

(2) 個人・関連団体寄贈資料等（記念資料室所管）の受入・整理

①新規資料の収集・受入

平成25年度における受贈資料群　　18件

資料名	数量	概要・備考
アルバム（大石三郎旧蔵）	2冊	卒業生
チベット語タイプライター	1台	文学部インド学仏教史研究室
仙台高等工業学校卒業アルバム1925	1冊	工学分館旧蔵
永澤信氏旧蔵写真・アルバム等	1箱	
三好愛吉関係資料（久保忠夫旧蔵）	2箱	旧制二高教授・校長
明善寮南寮十一室部屋札	1点	旧制二高寄宿舎
大島正隆関係資料	一括93点	法文学部副手（日本史学）
佐藤利三郎旧蔵　八木秀次先生像（レプリカ）	1点	佐藤忠良制作
福井文彦関係資料	2点	元教育学部音楽科教授
深夜マラソン記念手ぬぐい　第26回、第27回	2点	
元東北大学職員旧蔵写真等	1袋	
村岡典嗣書簡等	一括	元法文学部教授
北郷謙二氏旧蔵資料（二高・東北帝大関係バッジ等）	12点	旧制二高・東北帝大卒業生
明善寮旗	1点	旧制二高寄宿舎
阿波研造関係資料	一式	旧制二高・東北帝大弓道師範
在外同胞救出仙台学生同盟関係資料	一式	戦後引揚者に対する学生支援組織
富田はる旧蔵　受講ノートおよび抜刷	18点	東北帝大数学科女子卒業生
黒田チカ資料	11箱	日本初の女性大学生

②目録の整備・公表

平成25年度に目録を公表した資料群　　3件

資料名	数量	概要・備考
布施現之助文書（医学部・解剖学）	926点	研究関係、教育用図面等
林鶴一資料（理学部・数学）	56点	数学教育関係
石崎政一郎文書 法文学部教員適格審査委員会資料	19点	委員会の公的文書

2－2．資料利用者への対応

(1) 資料利用状況

平成25年度は、東日本大震災による改修工事のため6月14日日まで閲覧室の一般利用を休止し、6月1日より利用を再開した。利用状況は下記の通りである。

項目			人数	件数
閲覧室利用人数			166	－
＜公文書室＞ 特定歴史公文書等の利用 （閲覧ないし写しの利用）	1．特定歴史公文書等利用		34	175
		うち審査により利用制限をおこなった件数	－	12
		①閲覧利用	30	168
		②写しの交付	17	107
	2．移管元部局利用		1	2
＜記念資料室＞ 一般資料 （閲覧ないし複写利用）	1．資料閲覧		60	307
	2．複写申請		8	16
	3．掲載許可申請		9	31
デジタルアーカイブ （複写利用のみ）	1．複写申請		57	325
	2．掲載許可申請		63	187

※件数は、請求書に記載された資料名（資料群名）ごとに1件とカウントしている。

※人数は、1日単位ののべ人数である。

3．普及・社会教育事業

3－1．展示会および関連企画の開催

(1) 常設展示

①「歴史のなかの東北大学」の再開

平成17（2005）年4月1日より、東北大学の歴史をテーマにした常設展として公開している。平成23（2011）年3月から8月まで、および24（2012）年8月から25年9月までの間、災害復旧および耐震改修工事のため一時休止したが、平成25（2013）年9月からはさらに展示什器やパネル・展示物を更新し新たに公開を再開している。

②魯迅記念展示室「魯迅と東北大学」の整備・公開

平成23（2011）年7月より、かつて仙台医学専門学校に留学生として在学した文学者魯迅（周樹人）の留学生活を主テーマとする展示室として「魯迅記念展示室」を史料館本館1階に開設した。同室の整備は本部広報課との連携により取組み、関連資料の新規収集（魯迅自筆書幅）や展示ケースらの製作をおこなった。その後耐震改修工事のため平成24（2012）年8月から25（2013）年9月まで公開を休止したが、その後本館2階に場所を移動して公開を再開、年間を通

じて中国人来訪者等を中心に多くの見学者が訪れている。

(3) 企画展示等

常設展示	歴史のなかの東北大学	常設展示室	9 /27～ 3 /31
	魯迅と東北大学	魯迅記念展示室	9 /27～ 3 /31
企画展示	女子学生の誕生―100年前の挑戦	第 1 企画展示室	9 /27～12/27
	東北大学と大学アーカイブズの50年	第 2 企画展示室	9 /27～10/13 11/12～12/27
	村岡典嗣展―日本思想史学と東北大学	第 2 企画展示室	10/16～11/10
ミニ展示	熊谷岱蔵の書画 - ノーベル賞を逃した医学者の嗜み（コレクション紹介展）	第 1 企画展示室	1 /10～ 2 /14
	星寮のおひなさま　展	第 1 企画展示室	2 /21～ 3 /10
	卒業式の今昔―東北大学卒業式　100年の歴史から	第 1 企画展示室	3 /14～28
館外展示	かわうち今昔ものがたり（埋蔵文化財調査室・植物園と共同）	川内萩ホール展示ギャラリー	4 / 2 ～ 5 /28 10/11～31
共催展示	吉野作造記念館企画展「吉野作造と近代中国」	吉野作造記念館	10/27～12/27

3－2．展示室の利用状況

(1) 利用統計

平成25年度は、東日本大震災による被災のため 9 月末日まで一般の利用を休止し、 9 月28日より利用を再開したため、展示室の年間公開日数は135日となった。

史料館展示室への入場者数　2817人

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	総計
公開日数	－	－	－	－	－	3	29	23	20	20	20	20	135
入場者累計	－	－	－	－	－	106	1257	422	252	214	276	290	2817

※入場者数は、展示室入口においてカウントした

(2) 各種団体等による展示見学・視察への対応

平成25年度の対応件数　　17件

見学団体の内訳

区分	件数	備考
国際交流団体等	3 件	
その他一般	14件	各種文化施設・学会等主催行事による見学など
総計	17件	

主な見学団体

立教学院／学習院大学人文科学研究科アーカイブズ専攻／電気電子学会理事長／東京大学史史料室／白石高等学校／武漢理工科大学／お茶の水女子大学／一橋大学／結城豊太郎記念館友の会／仙台市適応指導教室「杜のひろば」／富山大学人文学部／月曜会／韓日中国際学会／日本図書館文化史研究会　ほか

3－3．他機関開催の展示会への出陳

(1) 国立民族学博物館「渋沢敬三記念事業　屋根裏部屋の博物館　Attic Museum」
（9/19～12/3）に渋沢敬三書簡（野口明文書）を出陳した。
(2) 学友会応援部創立50周年記念展示に応援団旗を出陳。

4．教育・研修・学習支援活動

4－1．公開講演会の開催

創立50周年記念講演会「「大学アーカイブズ」とこれからの大学」
（9/19　金属材料研究所講堂）
基調講演　寺崎昌男（東京大学名誉教授・立教学院調査役）
パネルディスカッション（寺崎昌男／西山伸／森本祥子／永田英明）

4－2．教育・学習活動における史料館の利用

(1) 史料館を活用した授業・講習の実施　4件

2013年度における、当館施設を利用して実施した授業科目は、下記の通りである

全学教育	展開科目（カレントトピックス）	「東北大学のひとびと」
	基礎ゼミ	「日本近世史入門」
学部教育	文学部・文学研究科開講科目	「日本史実習」
留学生対象　東北大学サマープログラム		Time Travel Tohoku University

4－2　全学教育の担当

(1) カレントトピックス科目「東北大学のひとびと」

史料館教員2名と文学研究科、高等教育開発推進センターの教員3名の共同で、全学教育科目（カレントトピックス科目群：第2セメスター）において「東北大学のひとびと」を新たに開講した。

4－3．職員研修の担当

2013年度においては、以下の講義を担当した。
東北大学初任者オリエンテーションにおける講義
「東北大学の歴史」　3回
「公文書管理について」　1回

5．調査・研究活動

5－1．学術出版物の発行

(1)『東北大学史料館紀要』第9号の刊行（2014年3月）

調査研究

・東北帝国大学における女子学生・女性研究者　永田　英明
・金山らくの数学に対する思い：兵庫県立美術館所蔵資料から　志賀　祐紀
・財団法人斎藤報恩会の設立と研究者たちの関わりについての一考察　米澤　晋彦
・昭和三陸津波と東北帝国大学　伊藤　大介
・戦時下の学術研究会議研究班と東北帝国大学『昭和二十年度／研究班組織原簿』の分析を中心に　吉葉　恭行
・東北大学附属図書館和漢書貴重図書目録の刊行について（二）：昭和36年版『東北大学附属図書館別置本目録　増訂稿』刊行まで　大原　理恵
・1970年代における東北大学の学生運動　加藤　諭

展示記録

・企画展「「女子学生」の誕生―100年前の挑戦―」 永田　英明
・東北大学と「大学アーカイブズ」の50年　加藤　諭
・企画展「村岡典嗣展－日本思想史学と東北大学」 曽根原　理

資料公開

・平成24年度に公開した法人文書
・平成24年度に公開した個人・団体文書

事業年報

・平成24年度事業年報

5－2．学会・研究会・研修会等への参加および報告

①全国大学史資料協議会全国研究会（於明治大学　10月9～16日　教員1名が参加）
②全国公文書館長会議（於福岡共同公文書館ほか　6月10～11日　教員1名が参加）

5－3．研修会等への派遣

①国立公文書館主催「アーカイブズ研修Ⅱ」（1/21～23）への参加（教育研究支援者1名）

5－4．科学研究費獲得状況

平成25年度における館員（協力研究員含む）の科学研究費獲得は合計4件となった。内訳は下記の通りである（研究代表者のみ）。

挑戦的萌芽研究　　代表1
基盤研究（C）　　代表2
若手研究（B）　　代表1

6．広報・情報公開（ニュースレター・ホームページ）

(1)『東北大学史料館だより』

平成25年度は下記の2回発行した。

19号（2013年9月）

・巻頭コラム　2段階の試験問題
・東北大学史料館のリニューアルオープンと創立50周年　東北大学史料館　永田英明
・黒田チカと牧田らく　お茶の水女子大学歴史資料館　志賀祐紀
・企画展記録
・資料の公開について
・史料館のうごき
・おしらせ

20号（2014年3月）

・巻頭コラム　学びの場での時間旅行へ－旧附属図書館閲覧室－
・これからの大学と「大学アーカイブズ」（講演要録）
東京大学名誉教授・立教学院本部調査役　寺崎昌男
・中国第一歴史档案館利用体験記　東北大学史料館　加藤諭
・企画展記録
・資料の公開について
・史料館のうごき
・おしらせ－川内萩ホール展示ギャラリー常設展　かわうち今昔物語

(2) インターネット等を利用した情報発信

1）史料館ホームページの改訂
16回の更新を行った

2）SNSによる情報発信
Twitterを利用した情報提供を38回にわたりおこなった。

史料館日誌抄 (2013/ 4 / 1 ～2014/ 3 /31)

平成25年（2013年）

4 / 1　公文書室担当部局の変更（法務・コンプライアンス部法務課文書審査係に替わる。）／閲覧室の公開休止／初任者研修。
4 / 5　永田、初任者研修（公文書管理）。
4 /17　引越業者の入札説明会。
4 /18　月例ミーティング／片平の史料館工事完成検査立会
4 /26　河北新報取材（永田）。
5 / 7　片平の史料館にて業者説明会／ボートの搬入。
5 /10　階段教室の案内（AEARU キャンパスツアー一行）
5 /13　引っ越し業者と打合せ
5 /16　附属図書館より、SKK の卒業アルバム（工学分館旧蔵）を受領。
5 /16　文学部インド哲学研究室より、チベット語タイプライターを受領。
5 /20　片平の史料館へ荷物搬入作業開始。
5 /22　図書館内史料館居室の書棚等の解体・片付け作業（～ 5 /24）。
5 /24　川内での最後の日。
5 /26　川内の図書館から片平史料館に荷物の搬出。
5 /27　片平の史料館建物での活動再開。
5 /27　館内復旧作業（荷解き、書架等の設置、図書配架、ネットワーク復旧作業）（～ 5 /29）。
5 /31　附属図書館で開催の学友会応援団創立50周年記念展に資料貸出（～ 7 /19）。
6 / 6　物品の廃棄作業。
6 / 7　月例ミーティング
6 /10　永田准教授、国立公文書館の館長会議（於・福岡）に出張（～ 6 /11）。
6 /13　立教学院文書館事務室の豊田さんほか 1 名が視察に来た。
6 /15　永田准教授、黒田チカ資料受入打合せのため、福岡出張。
6 /17　閲覧室のみ活動再開／階段教室の案内（富山大学人文学部大野圭介准教授ほか）
7 / 3　学内に向け、「刊行物等の寄贈について」（依頼）を送信。
7 / 6　学習院大学大学院アーカイブズ学専攻学生一行来訪（永・加）
7 /10　文系サマープログラム一行見学（永田・高等教育センター　中川講師）。
7 /17　オープンキャンパス時の展示の件で、北青葉山分館職員の来訪。
7 /17　２階展示室展示ケース組立作業（～ 7 /18）。
7 /18　２階展示室内で雨漏りが発生。
7 /19　昨日の雨漏りの件で、竹中工務店が処理（～ 7 /20）。
7 /23　キャンパス計画室、竹中工務店が雨漏り状況確認。
7 /24　NHK、女子入学資料取材／公文書管理委員会に永田・加藤出席。
7 /25　２階天井部の雨漏り発生。
7 /29　月曜会一行見学。竹中工務店が雨漏り対策作業。
7 /30　竹中工務店が雨漏り対策作業。夕方、NHK の番組収録（ 8 / 1 予定）の準備。
8 / 1　NHKE テレ「すいエンサー」の撮影（テレビ放映は 9 /17）／図書館にて学術資源研究公開センター史料館部会。
8 / 6　館内 4 ヶ所の熱交換器に不具合（～ 8 / 7 ）。
8 / 7　永田准教授、学術資源研究公開センターの会議に出席／日本思想史教室学生と「村岡典嗣」展について打ち合わせ。
8 / 8　黒田チカ氏遺族黒田光太郎名大名誉教授がチカ資料受入等打合で来館／永田准教授、「東北大学女子学生入学百周年記念シンポジウム」に参加。

8/9　展示室への階段修理工事（～8/12）。
8/16　永田准教授、黒田チカ氏資料受け入れ準備のため、福岡出張（～8/17）。
8/21　「ちかてつさんぽ」の取材。
8/22　国立民族学博物館特別展「渋沢敬三記念事業　屋根裏部屋の博物館　Attic　Museum」に資料を貸出／教育学部サマースクール一行、見学／第4回日中韓国際会議（JCK）一行見学。
8/27　IEEE委員長ほか一行が「IEEEマイルストーン記念碑」の原型を見に来た。
8/28　佐藤利三郎名誉教授ご遺族渡辺葉子氏より「八木秀次像（レプリカ）」受領。
9/5　展示室への階段（踊り場）のやり直し工事／施設部より学内建物写真収録アルバムを受領／吉野作造記念館、魯迅資料貸出展示の件について打ち合わせ（～9/12）。
9/9　展示室のパーテーション等工事（～9/12）。
9/13　日本図書館文化史研究会一行見学。
9/17　前日の台風で、屋根裏にまた雨がたまってしまった。
9/18　展示室のパーテーション等設置工事。
9/24　月例ミーティング／佐藤館長と永田准教授が総長室を訪れ、企画展内覧会の案内をした。
9/25　里見進総長ほか教授・名誉教授を対象にした企画展内覧会を開催。
9/26　高等教育開発推進センターより、深夜マラソン資料を受領。
9/27　今日から、2階展示室が再開し、企画展が開催。河北新報社の企画展取材。
9/28　今日から、土日特別開館始まる。
9/29　記念講演会およびシンポジウムを開催。その後、懇親会。
9/30　昨日の講演会参加者を対象とした案内会を開催／東大史史料室の森本特任准教授が視察。
10/1　永田准教授、職員初任者研修にて講師を担当。同研修参加者一行見学。
10/3　川内萩ホールから展示資料の撤収。
10/4　白石高校生一行。見学。
10/9　永田、東京で開催の大学史史料協議会に出張（～10/10）。
10/10　夕方、全学教育科目「東北大学のひとびと」見学会
10/11　吉野作造記念館企画展「吉野作造と近代中国」に資料を貸出／原田夏子氏より晩夏会資料他を受領。
10/12　かたひらまつり2013（～10/13）。
10/15　「アーカイブズの50年」展から「村岡典嗣展」に展示替えした。ソウル大学の人が視察に来た。
10/16　台風26号襲来のため、全館休館。
10/16　村岡典嗣展開催（～11/10）。
10/18　黒田チカ氏遺族（黒田光太郎氏、研二氏）が企画展見学のため来館。
10/22　月例ミーティング。
10/25　武漢理工大学一行見学
10/30　朝日新聞社の取材。
10/31　広報課より、古い大学一覧や学報等を受領。
11/7　教育学部の八鍬先生学生見学。
11/8　元職員宇和野周男さんより旧制二高・東北帝大卒業生北郷謙二氏資料を受領。
11/10　「村岡典嗣展」最終日。今年度の土日開館最終日。
11/11　卒業生の黒田純生さんから「明善寮旗」を受領。
11/12　「女子学生の誕生－100年前の挑戦－」「東北大学と「大学アーカイブズ」の50年」展を開催（～12/27）。
11/15　文学部日本史学科日本史実習。
11/18　月例ミーティング。
11/22　文学部日本史学科日本史実習

12/ 2　阿部博之元総長の聞き取り調査（永田・曽根原）
12/11　高等教育開発推進センター中川講師の授業。
12/12　お茶の水女子大学鷹野副学長が視察。
12/13　中国国際航空仙台支店一行、見学
12/17　月例ミーティング。
12/19　大阪の国立民族学博物館特別展に出陳していた資料が返却された。
12/20　２階展示室で、雨漏りが発生。
12/27　仕事納め。企画展最終日。

平成26年（2014年）
1 / 6　仕事始め／東北大学新入職員研修で講師（永田）。同研修受講者一行、見学。
1 / 7　昭和２年理学部数学科卒の富田はる氏遺族志村美知子さんから、富田さんの受講ノート等資料を受領。
1 / 8　施設部から最近建てられた大学の建物のアルバム２点を受領。
1 /10　展示室で、コレクション紹介展№3「熊谷岱蔵の書画」展開始。
1 /16　竹中工務店の雨漏り対策工事終了。
1 /21　月例ミーティング。
1 /21　加藤、国立公文書館にて研修（～1 /23）。
1 /30　「JENESYS2.0　ASEAN 科学技術第１陣（科学技術・ものづくり・先端技術）タイ大学生グループ」一行見学（永）／関西 TV の取材および撮影（女子学生資料）。
2 / 3　図書館にて、史料館部会委員会。
2 /10　週末の大雪で、展示室エアコン室外機が落雪でへこんだ。
2 /12　凹んだエアコン室外機のフード修理。
2 /14　技術系新入職員研修一行見学／「熊谷岱蔵の書画」展終了。
2 /18　月例ミーティング。
2 /19　南陽市結城豊太郎記念館友の会一行見学。
2 /21　「星寮のおひな様」展開始。
2 /28　学術資源研究公開センター専門委員会史料館部会。
3 / 4　学術資源研究公開センター運営委員会（永田出席）／仙台市適応指導教室「杜のひろば・青葉」一行見学（加）。
3 / 5　一橋大学大学院プロジェクト「アーカイブズを考える」若尾教授ほか一行が視察／学術資源研究公開センター外部評価委員会（理学部）。
3 / 7　学術資源研究公開センター外部評価委員会委員。
3 /10　取材１件（デイリーインフォメーション－永）／今日から、書庫の引越作業に伴い特定歴史公文書の利用を停止。
3 /12　おひな様展最終日。
3 /14　展示室にてミニ展示「卒業式の今昔」開始。
3 /25　月例ミーティング
3 /28　佐藤弘夫館長が退任の挨拶に来た。永田准教授、八鍬新館長と打ち合わせ。ミニ展示終了。